

# EWA 社 Blackhawk BH560U+L

## TI 社 Code Composer Studio 用ドライバ

### インストールガイド **USB 編**

第 8 版 2009.10



**ROINOS**

**複製禁止**

株式会社 ロイノス DSP 開発ツール

Tel 053-762-3681 Fax 053-762-3682

URL : [www.roinos.com](http://www.roinos.com) Email : [tool@roinos.com](mailto:tool@roinos.com)

## 目次

1. まえがき .....	1	7.1. 機器の準備 .....	8	
2. システム要件と説明の範囲 .....	1	7.2 JTAG アダプタの準備 .....	8	
3. 取り扱い上の注意事項と保証期間 .....	1	7.3 Blackhawk560U+L の認識 .....	8	
4. 梱包内容 .....	2	8. CCS セットアップに関する役立つ知識 .....	9	
5. Code Composer Studio インストール .....	3	8.1 GEL の利用 (CCS Ver3.x 対応のため) ....	9	
5.1 CCS Ver3.3 の場合 .....	3	8.2 DSK 用のパッチ .....	9	
5.2 CCS Ver3.1 の場合 .....	4	8.3 マルチコアプロセッサについて (CCS	Ver2.x) .....	9
5.3 CCS Ver3.0 の場合 .....	5	8.4 マルチプロセッシング .....	10	
5.4 CCS Ver2.2 の場合 .....	5	8.5 マルチコアプロセッサについて (CCS	Ver3.1 以降) .....	10
6. デバイスドライバのインストール .....	5	8.6 CCS Setup の TCLK について .....	10	
6.1 CCS Ver3.x の場合 .....	5	9. Setup CCS .....	11	
6.2 CCS Ver2.2 の場合 .....	6	9.1 CCS Setup Ver3.3 の例 .....	11	
6.3 CCS Ver3.0 の場合 .....	6	9.2 CCS Setup Ver3.1 の場合 .....	12	
6.4 ロイノス編集 CD の場合 (CCS Ver3.3) .....	6	9.3 CCS Setup Ver2.x,3.0 の例 .....	12	
6.5 アンインストール .....	7			
7. Blackhawk560U+L のインストール (USB) .....	8			

9.4 CCS Ver3. x の場合.....	13	12.6 DSK C5510 の場合 .....	27
9.5 CCS Setup の import で設定をする方法 (CCS Ver3.3,3.1 の例) .....	14	12.7 SR-MK2 の場合.....	27
9.6 CCS Setup の import で設定をする方法 (Ver2.x,3.0 の例).....	14	12.8 eZdsp F2812 の場合.....	27
<b>10. 汎用的ボードの具体的設定(CCS3.3 の例)....</b>	<b>15</b>	12.9 eZdsp LF2407 の場合 .....	28
10.1 DSK C6713 の場合 .....	15	12.10 OMAP5912 OSK の場合 .....	28
10.2 DSK C6416 の場合 .....	15	<b>13. 補足説明.....</b>	<b>29</b>
10.3 EVM DM642 の場合.....	16	13.1 エミュレータのリセット .....	29
10.4 EVM 6201 / 6701 の場合 .....	16	<b>14. 故障対応.....</b>	<b>30</b>
10.5 DSK C5416 の場合 .....	17		
10.6 DSK C5510 の場合 .....	17		
10.7 SR-MK2 の場合 .....	17		
10.8 eZdsp F2812 の場合 .....	18		
10.9 eZdsp F2808 の場合 .....	18		
10.10 eZdsp LF2407 の場合.....	18		
10.11 eZdspF28335 の場合 .....	18		
10.12 OMAP5912 OSK の場合 .....	19		
10.13 EVM DM6437 の場合.....	20		
10.14 DSK C6455 の場合 .....	20		
10.15 EVM DM6446 の場合.....	21		
10.16 C672x の場合(EVM 6727 の例) .....	22		
10.17 EVM DM355 の場合.....	22		
10.18 OMAP3530 の場合 .....	23		
<b>11. 汎用的ボードの具体的設定 (CCS3.1 の例) ....</b>	<b>24</b>		
11.1 DSK C6713 の場合 .....	24		
11.2 DSK C6416 の場合 .....	24		
11.3 EVM DM642 の場合.....	24		
11.4 EVM 6201 / 6701 の場合 .....	24		
11.5 DSK C5416 の場合 .....	24		
11.6 DSK C5510 の場合 .....	24		
11.7 eZdspF2812 の場合 .....	24		
11.8 eZdspF2808 の場合 .....	24		
11.9 eZdspLF2407 の場合 .....	24		
11.10 OMAP5912 OSK の場合.....	24		
11.11 EVM DM6437 の場合 .....	24		
11.12 C672x の場合(EVM6727 の例) .....	25		
<b>12. 汎用的ボードの具体的設定(CCS2.x,3.0 の例)25</b>			
12.1 DSK C6713 の場合 .....	25		
12.2 DSK C6416 の場合 .....	25		
12.3 EVM DM642 の場合.....	26		
12.4 EVM 6201 / 6701 の場合 .....	26		
12.5 DSK C5416 の場合 .....	27		

## 1. まえがき

EWA 社エミュレーションシステムとテキサス・インスツルメンツ社 Code Composer Studio を組み合わせて使用することで実機のエミュレーションを行うことができます。テキサス・インスツルメンツ社の TMS320 ファミリーをサポートしています。

システムの特徴は次の通りです。

- ▲ C6000,C5000,C2000,OMAP,DaVinci の JTAG ファミリーのエミュレーション。
- ▲ USB 1.0, 1.1, USB2.0 ポートでの使用
- ▲ 1V から 5V までのターゲット I/O 電圧に自動対応
- ▲ 最適な JTAG クロック周波数の自動選択

本書では Code Composer Studio を CCS、テキサス・インスツルメンツ社を TI と称する場合があります。

## 2. システム要件と説明の範囲

本書は、EWA 社のエミュレータ Blackhawk560U+L と TI の CCS、JTAG 接続のターゲットボードを使用する方を主な対象とし、Blackhawk560U+L を **USB** で接続して使用方法についてご説明します。LAN での接続の方法については別冊「イーサネット編」をご参照ください。

ホストパソコンに必要な条件は次の通りです。

- ▲ CCS Ver2.2 以降

**注意** CCS をご使用になる際、CCS のアップデートアドバイザー機能を利用して、最新の修正パッチを入手できるようにしておいてください。ロイノスでも CCS のアップデートの販売を承っておりますのでご利用下さい。

- ▲ Windows xp/2000/98/Me

Me や 98 をサポートしていない CCS のバージョンもありますので CCS の仕様をご確認ください。

- ▲ USB 1.0, 1.1, USB2.0 ポート いずれか 1 個

Blackhawk560 U+L は USB2 のインターフェイスを持ちます。USB1.1 の端子に接続しても十分な性能でご使用いただけます。

## 3. 取り扱い上の注意事項と保証期間

製品は、実用性を踏まえつつ設計されておりますが、機構上長期間に渡る機械的負荷で損傷を受ける個所がございます。製品を長期にわたって安心してお使いいただけますよう、製品には**機械的衝撃を与えない、ケーブル部に機械的応力(張力、荷重、ねじれ力)をかけない**ようお願いいたします。

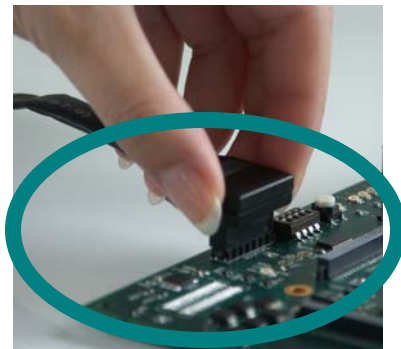
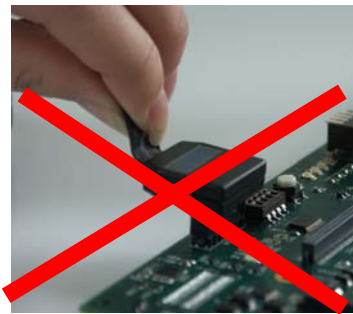
ターゲットの電源とホスト PC の電源はできるだけ近くからとり、フレームグラウンドの電位差が発生しないようにして下さい。電位差がある状態で JTAG の端子を挿抜し

ますと、機器が破壊されるおそれがあります。また、大電流を扱う機器、力率の悪い機器と AC を共用する環境では、フレームグラウンドの電位差による**循環電流を流さない**ようにホストパソコンとターゲットボードのグラウンドは **POD とは別に導線で常時接続**することをお勧めします。

また、製品の保証期間は一年間で、その期間内に正常な使用状況において故障した場合には修理は無償です。その期間を過ぎた場合には有償の修理となります。

ロイノスでは 1 年を超えた後でも、有料にて年間サポートを承っております。詳しくは弊社の web をご覧頂くか、あるいは営業までお問い合わせ下さい。

製品の構造上、JTAG コネクタの部分は強度が割と弱く、コネクタの挿抜の際にケーブルを引っ張るとコネクタ内部で接触不良が起き、CCS の動作が不安定となります。**かならず JTAG コネクタのシェルをつまみではずすようにしてください。**



(写真は Blackhawk560U+L ではございません)

## AC アダプタについて

**AC アダプタは必ず付属のものを使用して下さい。**とくに、パソコン用など、5V を超える電圧を供給する AC アダプタを接続するとほぼ確実に機器を破損し、有償修理となりますのでご注意ください。

#### 4. 梱包内容

製品の箱の中に以下のものがあることをお確かめください。

- (1) マニュアル 本書(USB編とイーサネット編)および英語のマニュアル
- (2) ドライバ CD (メーカー提供)



- (3) エミュレータ本体と USB ケーブル、LAN ケーブル



- (4) JTAG ケーブル

本体にすでにとりつけられています。1.27mm ピッチ 20 ピンの形態となっています。2.54mm ピッチの JTAG コネクタを採用したターゲットボードに接続するには付属のアダプタが必要です。

- (5) TI 2.54mm ピッチ 14 ピン用アダプタ。

従来から用いられてきた 2.54mm ピッチのターゲットに接続するために JTAG ケーブルの先端に追加するものです。



- (6) ARM 2.54mm ピッチ 20 ピン用アダプタ

ARM ピン配置のターゲットに接続するために JTAG ケーブルの先端に追加します。OMAP や DaVinci の ARM 部を CCS でデバッグできます。



- (7) TI 60 ピントレースコネクタ用アダプタ

DaVinciテクノロジーなどのデバイスで用意されるトレース用のコネクタに変換するためのものです。

- (8) AC アダプタと電源ケーブル
- (9) ロイノス編集 CD

場合によってデバイスドライバの修正版などのファイルをご提供する場合があります。



2009年9月現在の最新のドライバが入っています。

